

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	夜間にゲリラ豪雨が発生し、冠水した道路に車両が進入し水没しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	夜間の風水害出場(ゲリラ豪雨)時に、冠水した道路状況の確認ミス及び一旦停止を怠ったため。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨及び夜間のため視界が不良であったこと。 ・機関員の判断力、隊長の指示命令、隊員の状況確認が欠如していたこと。 ・過去に冠水した道路状況の把握、図上研修等しなかったこと。 ・隊長の指示、隊員の危険予知不足。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成25年8月27日 午後20時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：冠水した道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	おぼれ、車両の破損
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	出動途中
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)



○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7]年、階級[消防士長] 同様の活動 [過去に1.2回]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	冠水した道路に車両が突っ込んだ。	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで淀んだのはどうしてだと思うか？

・たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

漫然や油断があった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

結果を反省する事は出来ませんが、予知できなかった甘さや判断ミスが重なった事が本事例に繋がった原因だと思います。今後、二度と起こさないための対策とあり方について検討する必要があります。冠水した道路状況の把握、図上研修等を行うこと。機関員任せにしないで隊長、隊員がアドバイスしてサポートすること。機関員の再教育、機関員試験のあり方など。今回の事案を反省材料にして若手の指導、育成に努めて行きたいと思います。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



道路冠水